

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社浅沼組 上場取引所 東
 コード番号 1852 URL <https://www.asanuma.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）浅沼 誠
 問合せ先責任者（役職名）執行役員戦略企画本部（氏名）浅沼 真里香 TEL 06(6585)5500
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無（当社ウェブサイトには決算説明資料と動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	128,158	11.2	7,179	35.0	7,048	31.2	4,867	38.6
2025年3月期第3四半期	115,300	3.3	5,316	103.1	5,371	95.8	3,511	120.6

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 5,771百万円(75.6%) 2025年3月期第3四半期 3,286百万円(12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	60.36	—
2025年3月期第3四半期	43.56	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	111,287	48,570	43.3
2025年3月期	115,240	46,138	39.7

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 48,150百万円 2025年3月期 45,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	26.00	41.00
2026年3月期	—	16.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	27.50	43.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	174,600	4.5	7,550	9.9	7,370	12.6	5,000	6.6	62.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	80,786,290株	2025年3月期	80,786,290株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	59,404株	2025年3月期	177,635株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	80,645,283株	2025年3月期3Q	80,605,629株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8
3. 補足情報	P. 10
四半期個別受注の概況	P. 10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業による設備投資の継続や雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しもみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、日本銀行の金融政策正常化に伴う金利上昇や物価上昇、米国や中国など諸外国の動向による影響などに十分留意する必要性があり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、公共建設投資は、政府による防災・減災、国土強靱化のための対策などに牽引されて底堅く推移しております。一方、民間建設投資においては、民間非住宅投資に関して、企業の設備投資意欲が緩やかに持ち直しており、総じて建設投資全体としては堅調な動きが続いております。しかしながら、建設資材価格の高止まりや人手不足の深刻化など、施工体制の確保に課題が残っており、事業環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは「中期3ヵ年計画(2024~2026年度)」の開始から2年目の折り返しを迎えております。計画では、3年間で注力する「6つのテーマ」を選定しており、その一つである「ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理強化」においては、統合報告書「INTEGRATED REPORT 2025」を作成・公開し、当社の取り組みや戦略、財務・非財務情報を統合的に発信いたしました。また、「環境・社会への貢献」においては、当社グループのGHG(温室効果ガス)排出削減目標が、国際的なイニシアティブであるSBTi (Science Based Targets initiative) より科学的根拠に基づいたものとして評価され、2025年11月にSBT認定を取得いたしました。加えて、2024年度のGHG排出量については、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による第三者保証を受けることで、データの正確性・信頼性を確保しています。当社グループは今後も、気候変動への対応をはじめとする環境課題への取り組みを強化し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを一層加速してまいります。

以上の結果、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の受注高は1,697億9千1百万円で、前年同期比26.4%の増加、売上高は1,281億5千8百万円で前年同期比11.2%の増加、売上総利益は154億5千7百万円で前年同期比22.8%の増加となりました。

営業利益につきましては71億7千9百万円(前年同期比35.0%の増加)となりました。

経常利益につきましては70億4千8百万円(前年同期比31.2%の増加)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては48億6千7百万円(前年同期比38.6%の増加)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(建 築)

受注高は1,405億2千8百万円(前年同期比15.9%の増加)、売上高は1,054億6千9百万円(前年同期比7.8%の増加)となり、セグメント利益は122億2千万円(前年同期比20.2%の増加)となりました。

(土 木)

受注高は292億6千3百万円(前年同期比124.1%の増加)、売上高は200億3千万円(前年同期比31.8%の増加)となり、セグメント利益は24億8千1百万円(前年同期比31.9%の増加)となりました。

また、「その他」の事業につきましては、売上高は26億5千8百万円(前年同期比17.5%の増加)、セグメント利益は5億4千8百万円(前年同期比63.5%の増加)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.4%減少し、933億9千3百万円となりました。これは、債権の回収が進み、受取手形・完成工事未収入金等が19億5千7百万円、未収入金が37億3千2百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、178億9千4百万円となりました。これは、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が13億5千2百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、1,112億8千7百万円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14.4%減少し、452億5千4百万円となりました。これは、未成工事受入金が19億9千万円、仮受消費税等が19億8千8百万円それぞれ増加した一方、工事未払金が47億9千3百万円、短期借入金が63億円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し、174億6千2百万円となりました。これは、長期借入金が13億4千3百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.2%減少し、627億1千6百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.3%増加し、485億7千万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払などの結果、利益剰余金が14億8千万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の結果及び足元の状況を勘案し、2025年5月14日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2026年2月10日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」および「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	16,833	17,263
受取手形・完成工事未収入金等	73,588	71,630
未成工事支出金	1,900	2,571
その他の棚卸資産	74	68
未収入金	4,632	900
その他	823	1,299
貸倒引当金	△188	△338
流動資産合計	97,664	93,393
固定資産		
有形固定資産	4,874	4,991
無形固定資産		
のれん	853	693
その他	1,850	1,667
無形固定資産合計	2,703	2,360
投資その他の資産		
投資有価証券	6,277	7,629
退職給付に係る資産	1,708	1,790
その他	3,041	1,637
貸倒引当金	△1,029	△515
投資その他の資産合計	9,997	10,542
固定資産合計	17,576	17,894
資産合計	115,240	111,287
負債の部		
流動負債		
工事未払金	20,885	16,092
短期借入金	8,310	2,010
1年内返済予定の長期借入金	1,036	1,046
1年内償還予定の社債	600	—
未払金	220	341
未払法人税等	2,044	913
未成工事受入金	8,569	10,560
完成工事補償引当金	717	728
工事損失引当金	75	113
仮受消費税等	7,184	9,172
その他	3,243	4,276
流動負債合計	52,885	45,254
固定負債		
社債	390	390
長期借入金	11,221	12,565
退職給付に係る負債	4,198	4,019
その他	405	487
固定負債合計	16,216	17,462
負債合計	69,102	62,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,614	9,614
資本剰余金	222	207
利益剰余金	32,706	34,186
自己株式	△131	△44
株主資本合計	42,411	43,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,029	2,965
為替換算調整勘定	1,348	1,238
退職給付に係る調整累計額	△81	△17
その他の包括利益累計額合計	3,296	4,186
非支配株主持分	430	420
純資産合計	46,138	48,570
負債純資産合計	115,240	111,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
完成工事高	113,037	125,499
その他の事業売上高	2,262	2,658
売上高合計	115,300	128,158
売上原価		
完成工事原価	100,989	110,797
その他の事業売上原価	1,721	1,903
売上原価合計	102,711	112,701
売上総利益		
完成工事総利益	12,047	14,702
その他の事業総利益	540	754
売上総利益合計	12,588	15,457
販売費及び一般管理費	7,271	8,278
営業利益	5,316	7,179
営業外収益		
受取利息	73	60
受取配当金	98	113
為替差益	66	62
持分法による投資利益	2	2
その他	98	65
営業外収益合計	339	304
営業外費用		
支払利息	108	236
支払手数料	99	93
支払保証料	26	53
貸倒引当金繰入額	46	41
その他	3	10
営業外費用合計	284	435
経常利益	5,371	7,048
特別利益		
固定資産売却益	5	7
投資有価証券売却益	—	57
その他	0	0
特別利益合計	6	65
特別損失		
固定資産売却損	3	1
固定資産除却損	1	0
投資有価証券売却損	—	2
特別損失合計	4	4
税金等調整前四半期純利益	5,372	7,109
法人税、住民税及び事業税	1,138	1,709
法人税等調整額	644	514
法人税等合計	1,783	2,224
四半期純利益	3,589	4,885
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,511	4,867

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,589	4,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△520	935
為替換算調整勘定	246	△113
退職給付に係る調整額	△29	64
その他の包括利益合計	△302	886
四半期包括利益	3,286	5,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,160	5,757
非支配株主に係る四半期包括利益	126	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	612百万円	676百万円
のれんの償却額	145	150

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	建 築	土 木	計				
売上高							
官庁	8,889	8,595	17,484	440	17,924	—	17,924
民間	83,582	5,660	89,243	478	89,721	—	89,721
海外	5,366	942	6,309	1,344	7,653	—	7,653
外部顧客への売上高(注4)	97,838	15,198	113,037	2,262	115,300	—	115,300
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	4	4	△4	—
計	97,838	15,198	113,037	2,266	115,304	△4	115,300
セグメント利益	10,165	1,881	12,047	335	12,383	△7,066 (注2)	5,316

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業及び不動産事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△7,066百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各事業セグメントに配分していない全社費用△7,066百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 「外部顧客への売上高」は、顧客との契約から生じる収益及びその他の収益が含まれております。その他の収益に重要性はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	建 築	土 木	計				
売上高							
官庁	9,786	11,383	21,170	454	21,624	—	21,624
民間	87,133	7,821	94,954	469	95,423	—	95,423
海外	8,549	825	9,375	1,734	11,110	—	11,110
外部顧客への売上高(注4)	105,469	20,030	125,499	2,658	128,158	—	128,158
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	4	4	△4	—
計	105,469	20,030	125,499	2,663	128,163	△4	128,158
セグメント利益	12,220	2,481	14,702	548	15,251	△8,071 (注2)	7,179

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業及び不動産事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△8,071百万円には、セグメント間取引消去△1百万円及び各事業セグメントに配分していない全社費用△8,070百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 「外部顧客への売上高」は、顧客との契約から生じる収益及びその他の収益が含まれております。その他の収益に重要性はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

① 個別受注実績

	受注高	
2026年3月期第3四半期累計期間	162,871百万円	30.5%
2025年3月期第3四半期累計期間	124,813	9.6

(注) %表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(参考)受注実績内訳

区 分			2025年3月期 第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		2026年3月期 第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		比較増減	
			金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
建設事業	建築	官 庁	11,713	9.4	26,841	16.5	15,127	129.1
		民 間	100,055	80.2	107,230	65.8	7,174	7.2
		計	111,769	89.6	134,071	82.3	22,302	20.0
	土木	官 庁	9,276	7.4	11,730	7.2	2,454	26.5
		民 間	3,767	3.0	17,069	10.5	13,302	353.0
		計	13,044	10.4	28,800	17.7	15,756	120.8
	合計	官 庁	20,990	16.8	38,571	23.7	17,581	83.8
		民 間	103,823	83.2	124,299	76.3	20,476	19.7
		計	124,813	100	162,871	100	38,058	30.5

② 個別受注予想

	受注高	
2026年3月期予想	190,000百万円	12.2%
2025年3月期実績	169,334	0.6

(注) %表示は、対前年同期増減率を示しております。

[個別受注実績に関する定性的情報]

当第3四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比30.5%増の1,628億7千1百万円となりました。部門別では、建築・土木両部門で官庁・民間受注が増加しました。